

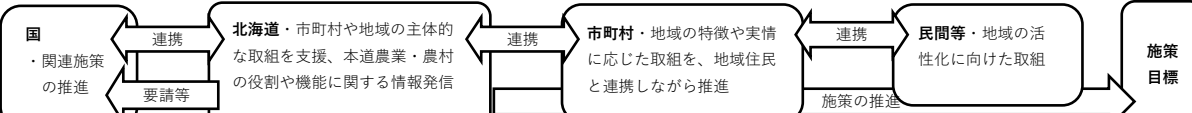


| | | | | | | | |
|----------------------|---|------|---------------|---------|---------------|-------|----|
| 令和3年度 基本評価調書① | | 所管部局 | 農政部 | 所管課 | 農政課、農村設計課 | | |
| 施策名 | 農村活性化対策の推進 | | | 施策コード | 06051 | | |
| 政策体系(中項目) | 農林水産業の持続的な成長 | | | 政策体系コード | 2(1)A | | |
| 知事公約 | — | 総合戦略 | A 3251 A 4331 | 国土強靱化 | B 6211 B 7231 | 事務事業数 | 16 |
| SDGs |    | | | 総合判定 | 概ね順調 | | |

【1 Plan】

| | | | | | | |
|---------|--|--------------|-----|--------------|-----|--------------|
| 施策目標 | 地域の創意工夫と特色ある資源を活かした農村地域の活性化及び農業・農村が有する多面的機能の発揮に向けた地域における共同活動を促進する。また、本道農業・農村の役割・機能に対する道民のコンセンサスづくりを推進する。 | | | | | |
| 現状と課題 | 農村地域では人口減少や高齢化の急激な進行により地域の活力低下が懸念され、定住条件改善の取組や、所得の向上、都市との交流など関係人口の拡大などが求められている。また、本道農業・農村を将来に引き継いでいくためには、農業・農村に対する道民の理解の促進が不可欠である。 | | | | | |
| 主な取組 | 農業や観光業等多様な主体が地域ぐるみで取り組む「農村ツーリズム」を推進するため、相談体制の整備や地域における組織体制の強化、受入人材の育成などの取組を実施。コンセンサスづくりの推進としては、「農業・農村ふれあいネットワーク」が取り組む全道的な視点に立って展開する農業・農村コンセンサスづくりの活動(ラジオ放送や情報発信、交流イベントの開催等)に対する支援を実施する。 | | | | | |
| 予算額(千円) | R 3 | 15,799,916千円 | R 2 | 15,783,584千円 | R 1 | 15,428,399千円 |
| 施策のイメージ |  <p>国・関連施策の推進 → 連携(要請等) → 北海道・市町村や地域の主体的な取組を支援、本道農業・農村の役割や機能に関する情報発信 → 連携 → 市町村・地域の特徴や実情に応じた取組を、地域住民と連携しながら推進 → 連携(施策の推進) → 民間等・地域の活性化に向けた取組 → 施策目標</p> | | | | | |

〈成果指標の達成状況〉 ⇒ 3つ以外の指標は、補助指標調書に記載

| 指標名① | 維持 | 千ha | H30年度 | R元年度 | R 2年度 | 最終目標(R2) | 達成率 | 指標判定 |
|--|---|-----|-------|------|-------|----------|--------|------|
| 多面的機能支払の取組面積 | 目標値 | | 734 | 734 | 734 | 734 | 105.7% | A |
| | 実績値 | | 771 | 768 | 776 | | | |
| 設定理由 | 多面的機能の維持・発揮を図るための地域の共同活動の取組対象となる農用地面積を、北海道創生総合戦略に基づき、地域活動への支援の進捗状況を測る指標として設定。 | | | | | | | |
| 分析(主な取組と成果) | | | | | | | | |
| 多面的機能支払事業の着実な実施により地域の共同活動の取組が支援されており、効果が認められる。 | | | | | | | | |

| 指標名② | 増加 | % | H29年度 | H30年度 | R元年度 | 最終目標(R4) | 達成率 | 指標判定 |
|--|---|---|-------|-------|------|----------|--------|------|
| 農村ツーリズムの受入活動実践農家の割合 | 目標値 | | — | — | 7.3 | 7.5 | 100.0% | A |
| | 実績値 | | — | 7.2 | 7.3 | | | |
| 設定理由 | 総農家戸数に占める農村ツーリズムの受入施設数の割合を、北海道創生総合戦略に基づき、農村ツーリズムの取組の進捗状況を測る指標として設定。 | | | | | | | |
| 分析(主な取組と成果) | | | | | | | | |
| 関係機関や団体と連携して、農村ツーリズムの推進に向けた情報共有や地域の構想づくりの支援などを実施したことから、総農家戸数に占める農村ツーリズムの受入施設数の割合は増加している。 | | | | | | | | |

| 指標名③ | 増加 | % | H30年度 | R元年度 | R 2年度 | 最終目標(R7) | 達成率 | 指標判定 |
|---|--|---|-------|------|-------|----------|-------|------|
| ふれあいファームに登録している農家の割合 | 目標値 | | 2.8 | 2.8 | 2.8 | 2.8 | 89.3% | C |
| | 実績値 | | 2.5 | 2.5 | 2.5 | | | |
| 設定理由 | 第6期北海道農業・農村振興推進計画に基づき、ふれあいファーム登録制度の進捗状況を測る指標として設定。 | | | | | | | |
| 分析(主な取組と成果) | | | | | | | | |
| 販売農家戸数の減少が進む中で、離農や交流事業の休止等により、ふれあいファーム数が減少した。 | | | | | | | | |

| | | | | |
|---------------|-----|------------|-------|-------|
| 令和3年度 基本評価調書② | 施策名 | 農村活性化対策の推進 | 施策コード | 06051 |
|---------------|-----|------------|-------|-------|

【2 Do&Check】

| 成果指標 | 指標名 | 前々年度 | 前年度 | 評価年度 | 評価年度目標値 | 指標判定 |
|-------------|---|------|-----|------|------------|------|
| 成果指標 | 多面的機能支払の取組面積 | 771 | 768 | 776 | 734 | A |
| | 農村ツーリズムの受入活動実践農家の割合 | — | 7.2 | 7.3 | 7.3 | A |
| | ふれあいファームに登録している農家の割合 | 2.5 | 2.5 | 2.5 | 2.8 | C |
| 目標(指標)の達成状況 | 多面的機能支払の取組面積及び農村ツーリズムの受入活動実践農家の割合は取組の着実な実施により目標を達成している。ふれあいファームに登録している農家の割合は、離農や交流事業の休止等により近年伸び悩んでいることから、目標に向けたさらなる取組が必要。 | | | | 指標総合判定 | B |
| 連携状況 | 農業や観光業など多様な主体が地域ぐるみで取り組む「農村ツーリズム」を推進するための関係部局との連携や、民間の関係団体が協同で設立した「農業・農村ふれあいネットワーク」の取組に対する支援を進めている。 | | | | 連携判定 | ○ |
| 緊急性優先性 | 「多面的支払制度」や「農泊」の取組の着実な推進のため、農林水産省に対して各種提案を行っている。 | | | | 緊急性優先性判定 | ○ |
| 総合判定の根拠 | 農村活性化対策の推進に向けて、多面的機能支払の取組や農村ツーリズムの受入活動は着実に推進されているものの、ふれあいファーム登録農家数の増加に向けたさらなる取組が必要。 | | | | 総合判定(一次評価) | 概ね順調 |

| 翌年度に向けた対応方針 | 対応方針番号 | 内容 |
|-------------|--------|--|
| | ① | 多面的機能支払の取組や農村ツーリズムの受入活動を着実に推進するとともに、ふれあいファーム登録農家数の増加に向け、ホームページや情報誌などによる情報発信の取組等を通して、新規登録の確保に努める。 |
| | ② | |
| | ③ | |

〈二次政策評価〉

| | | | |
|------------|---|--------------|---|
| 前年度二次評価意見 | 新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、施策の目標達成に向け事業内容を精査すること | 対応状況(R3.3時点) | 新型コロナの影響により事業に遅延が生じないよう、感染症対策の徹底やオンライン開催により関係者との連携や地域のレベルアップに必要な会議・研修会を開催するなど農村地域の活性化を推進。 |
| R3年度二次政策評価 | | | |

【3 Action】

| | |
|------------|--|
| 二次政策評価への対応 | |
| R4施策の方向性 | 関係部局・市町村・関係団体との連携や説明会等を開催するなど、多面的機能支払の取組や農村ツーリズムの受入活動を着実に推進する。 ふれあいファーム登録農家数の増加に向けては、SNSを活用した情報発信も推進していく。 |